垂井町　計画降雨浸水防止区域図
【計画規模降雨】

N

東海道本線

東海道本線

東海道新幹線

凡　例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.3m～0.5m
- 0.5m～1.0m
- 1.0m～3.0m
- 3.0m～5.0m
- 計画降雨浸水防止区域

垂井町 計画降雨浸水防止区域図 【計画規模降雨】

1. 説明文
① この図は、計画規模降雨による計画降雨浸水防止区域及び浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
② この雨水出水浸水想定区域図は、令和5年度末時点の各排水施設の状況を勘案して、計画規模降雨に伴う雨水出水による浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
③ このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、洪水（河川の破堤または越水）による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。
④ このシミュレーションは、計画規模降雨による浸水を想定するため、排水先の相川の水位は堤防高を上限として計画上の最高水位に設定しています。
⑤ 水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住いの状況等により異なるため、行政からの気象情報や防災情報を基に自らの判断で適切に行動してください。

2. 基本事項
① 作成主体　：垂井町
② 指定年月日　：令和7年6月20日
③ 指定の根拠法令　：水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項
④ 指定の前提となる降雨：計画規模降雨（時間最大雨量62.6mm）
⑤ 浸水想定手法　：浸水シミュレーション手法［降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析を一連で実施］
⑥ 境界条件　：相川の水位は堤防高を上限とした想定最大水位としています。
⑦ その他計算条件等　：対象区域を5mのメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算しています。
下水道の排水施設と相川を一体としたシミュレーションではありません。

3. 問合せ先
垂井町 建設課